



上尾市立瓦葺小学校

アッピースタートカリキュラム for 2 weeks

第1週目

集団の中での、新しい出会いを喜び、話を聞くことを少しずつ覚えながら楽しく過ごし、1年生の生活についての戸惑い・不安を解消する。

	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
学校行事	入学式	一斉下校		身体測定	
業前		挨拶・健康観察の仕方	読み聞かせ・健康観察	読み聞かせ・健康観察	読み聞かせ・健康観察
1		がっきゅうかつどう	がっきゅうかつどう	がっきゅうかつどう	こくご
		あいさつ・返事の仕方 ロッカー・荷物かけの確認と使い方 ランドセル、道具箱の出し入れ	学校のきまり 「みんなで がっこうをあるこう」 廊下の歩き方	身体測定の受け方 並び方・やくそく	「さあはじめよう」 音読の姿勢
2	がっこうぎょうじ	せいかつ	たいいく	がっこうぎょうじ	ずこう
	入学式	トイレの使い方 水道の使い方 並び方の練習 くつ箱の確認と使い方	着替えの仕方 服のたたみ方 遊具の使い方	身体測定 保健の先生の紹介	「すきなもの、いっぱい」 クレパスですきなものを 想像しながら描く。
3	がっきゅうかつどう	がっこうぎょうじ	せいかつ	こくご	さんすう
	あいさつ・返事の仕方 学校の名前 担任の名前 家庭との連携	一斉下校 安全な登下校 並び方	1年生の下校班 集合場所・並び方	教科書の持ち方 音読の姿勢 「あさ」	「なかまをつくろう」 絵を見ながら条件に応じた仲間を作る。

授業の工夫

ブロックや粘土など、子供たちのこれまでの経験を生かした活動を取り入れた学習活動をしていきます。子供たちの実態に応じて、45分の授業にも徐々に慣れていけるようにします。

家庭との連携

入学式後の学級活動の中での担任挨拶、また、学校だより・学年だよりなどで家庭との連携を図ります。さらに、連絡帳や1週間毎に配布する学習予定で学習内容や持ち物を事前に分かるようにし、保護者の方々が不安にならないようにしていきます。

幼児期の経験を生かす

入学までに子供たちが経験したことや身に付けたことを生かすことで意欲をもって学習できます。環境の違いや個人差が大きいことを踏まえ、児童一人一人をよく見つめながら、子供たちができることを生かした授業を行います。

第2週目

学校で友達と過ごすことに関心をもち、楽しく遊んだり学習したりする中で、学校生活や遊びのマナーを身に付ける。

	6日目	7日目	8日目	9日目	10日目
学校行事				懇談会	
業前	読み聞かせ・健康観察	読み聞かせ・健康観察	読み聞かせ・健康観察	読み聞かせ・健康観察	健康観察 朝マラソン見学
1	こくご 「なんていおうかな」 絵を見ながらどんな話をしている場面か出し合う。	こくご 「なんていおうかな」 絵を見ながらどんな話をしている場面か出し合う。	こくご 「はじめてかいた名前」 鉛筆の持ち方 書く時の姿勢	さんすう 「なかまづくりとかず」 絵を見て、動物の数と数字を対応させる。	がっきゅうかつどう 安全な下校ができていないかをみんなで振り返る。 並び方・約束 あいさつの仕方（地域の方々・お迎えの保護者）
2	さんすう 「なかまづくりとかず」 どちらが多いか、線を引 きながら比べる。	ずこう 「すきなもののいっぱい」 クレパスで描いた好きなものが何かを話す。	たいいく しゅうだんこうどう ゆうぐであそぼう	たいいく しゅうだんこうどう ゆうぐであそぼう	こくご 「どんなおはなしかな」 話を聞いて、感想を出し合う。
3	せいかつ 「楽しい給食」 給食の準備 楽しく食事 みんなで後片付け	せいかつ 「みんなでがっこうをあるこう」 校庭にはなにがあるかな 校庭での約束	さんすう 「なかまづくりとかず」 絵を見て、動物の数と数字を対応させる。	せいかつ ALT と英語活動 英語を使って簡単なあいさつやゲームをする。	さんすう 「なかまづくりとかず」 絵を見て、動物の数と数字を対応させる。
4			こくご 鉛筆の持ち方 書く時の姿勢 ひらがなのおけいこ	こくご ひらがなのおけいこ ちょうをつかって、ひらがなの学習	おんがく 「あつまれ！おんがくなかま」 校歌をおぼえよう
5			がっきゅうかつどう 「おそうじだいさくせん」 掃除用具の使い方・しまい方	こくご 「どんなおはなしかな」 しずかに話を聞く。	せいかつ 「がっこうだいすき」 みんなであるいて、 みつけたものをはなそう

授業の工夫

生活科や国語を中心に、ゆったりとした時間の中で学習を進めます。子供たちの実態に応じて45分の授業に慣れるようにします。5月の連休前に、学校生活のリズムが整うようにしていきます。

家庭との連携

懇談会を設けてあります。子供たちの入学後の学校の様子や家庭での様子を伝え合い、今後の予定をお知らせします。休日を含め、日常生活においても、子供たちの生活リズムを崩さないよう依頼していきます。

幼児期の経験を生かす

登校後の提出物、給食の配膳や掃除当番などを子供たち自身でできるように環境を整えていきます。

